

中長距離専門 LCC
AirAsiaX を概観する (2/2)

2018年6月1日

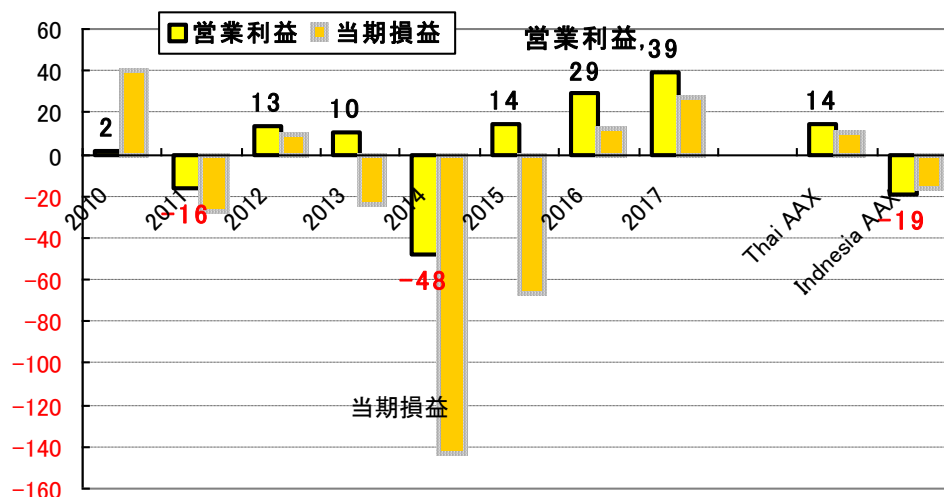
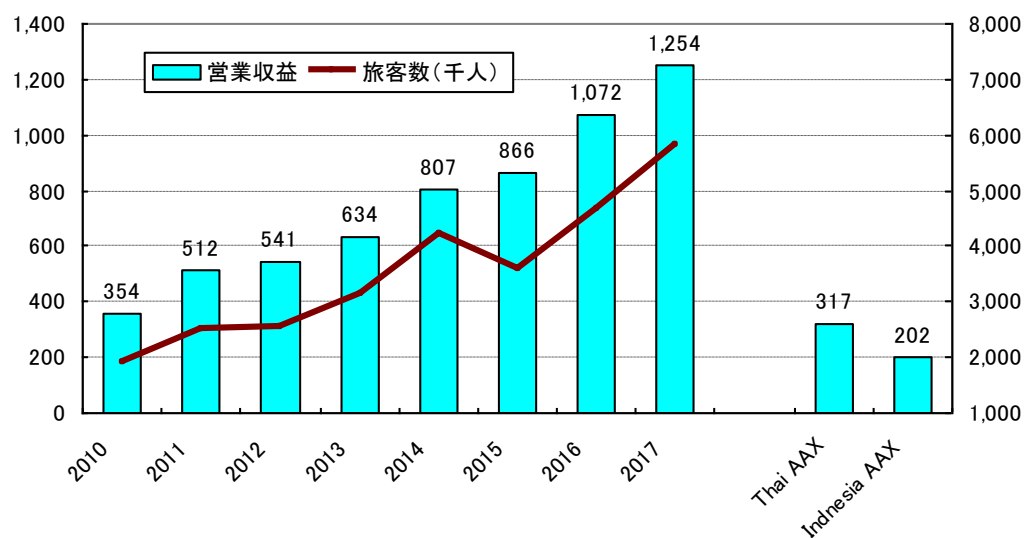
1. 損益の推移； マレーシアリンギット=27.48円で換算

AA Xは2013年に上場したが、収入は大幅増を続け、2017年は1,254億円となった。旅客数もほぼコンスタントに伸びている。

営業利益は、2014年に赤字を計上したが、その後は黒字を続けている。

但し金利負担や為替差額（借入金の膨らみによる差損等）の影響で、2013～2015年は最終損益で赤字であった。

2017年のThai AA Xは317億円の収入で14億円の営業利益、Indonesia AA Xは202億円の収入で営業損失▲19億円であった。



2. 損益の状況 ; 2017 年の収支内訳

- ① A A X の 2017 年の営業収益は 1,254 億円で、
 営業利益は 39 億円であった。
 金融収支（主に借入金利息）や為替損益
 （2017 年は益）などを経た税前利益は
 51 億円、税金調整後の最終利益は 27 億円で
 あった。

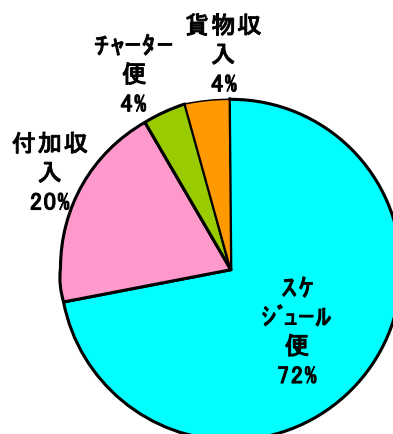
AAX (2017)	
億円	
営業収益	1,254
営業費用	1,214
営業利益	39
金融収支	-8
為替差額	20
税前利益	51
支払税金	-2
繰延税金	-22
当期利益	27

- ② 収入総額は 1,254 億円ながら、グループ 2 社へのリース機賃貸収入 124 億が含まれており、これを除去したグループ外からの収入は 1,129 億円であった。
 うちスケジュール便の運賃収入が 808 億円（72%）、付加収入※が 228 億円（20%）、換言すれば運賃収入に対する上乗せは 28%の上乗せであり、付加収入が大きいことがわかる。 このほか貨物収入やチャーター収入も意外に大きい。

※座席指定、機内販売、支払等の手数料のほか保険、ホテルやレンタカーの予約等

収入の内訳

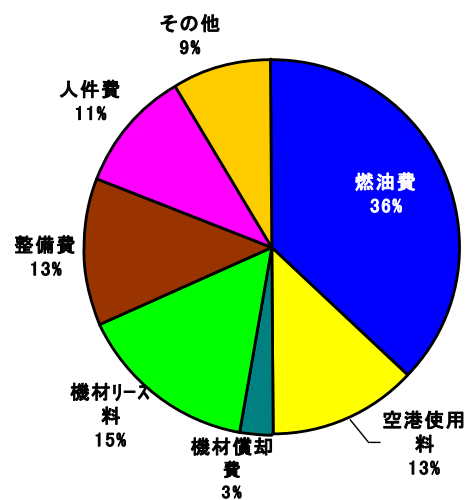
	グループ間相殺	
	億円	億円
スケジュール便	808	
付加収入	228	
チャーター便	45	
管理収入	1	
貨物収入	47	
機材リース収入	124	-124
(合計)	1,254	1,129



- ③営業費用総額1,214億円から賃貸リース機に見あう費用を除去すると1,090億円である。この内訳をグラフ化すると；
 燃油費 36%をはじめ、空港使用料、機材費、整備費の運航4費用で8割を占め、特に機材リース料が大きく 15%と機材の償却費（3%）を上回り、ホレティングリースによることがわかる。
 人件費は11%と低めであり、それ以外の費用は9%である。

営業費用の内訳

	グループ間相殺	
	億円	億円
燃油費	403	
空港使用料	140	
機材償却費	30	
機材リース料	260	-90
整備費	179	-41
人件費	116	
その他	105	
他(収入控除)	-19	7
(合計)	1,214	1,090



3. 旅客に係る収益性指標 (2016~2017) ;

2017 年の旅客にかかわる収益性指標を 2016 年に対比させながらみると ;

※指標算出に当たってはグループ会社への機材貸出に係る要素は収支から除去した。

- ・ 日に平均 26 往復を運航 (前年より+20%の増便)
- ・ 旅客数は+1,149 人増加 (同+25%)
- ・ 搭乗率は 81.5% (同+2.5ポイント上昇)
- ・ 旅客単価は 19,334 円/人 (平均距離は 4,896km)
- ・ 旅客^キ単価は 3.95 円/^キ (前年より▲4%低下)
- ・ 座席^キコストは 3.11 円/^キで採算ライン (B/E) は 78.7%
- ・ 便 (片道) 当りの旅客収入は 595 万円、営業利益は 20.7 万円

MYR=27.48円		2016	2017	(差)	(率)
営業収益	億円	1,072	1,254	182	117
(うち旅客収入)	億円	951	1,129	178	119
営業利益	億円	29	39	10	
便数	往復/日	22	26	4	121
旅客数	千人	4,688	5,838	1,149	125
座席数	千席	5,935	7,152	1,217	121
平均距離	km	4,946	4,896	-51	99
RPK	百万 ^キ	23,188	28,578	5,390	123
ASK	百万 ^キ	29,343	35,054	5,711	119
搭乗率	%	79.0	81.5	2.5	
旅客単価	円	22,866	19,334	-3,532	85
旅客^キ単価	円/ ^キ	4.10	3.95	-0.15	96
座席^キコスト	円/ ^キ	3.14	3.11	-0.03	99
B/E	%	76.6	78.7	2.11	103
便当り旅客収入		6,038	5,949	-89	99
便当り費用		5,852	5,742	-109	98
便当り営業利益		187	207	20	

4. 2017年の財務状況；貸借対照表とキャッシュフロー計算書

① 貸借対照表；

資産総額が1,309億円と、この種の事業には小さい。

有形固定資産（航空機）が少ないためである。一方で機材の前払金が非常に多い。このことから、発注は自社で行うが、購入はリース会社に委ねてそこからリースを受ける形（整備引当金も必要となる）と考えられる。

営業未収入金が少なく、前受金が多いのは運賃の受領が早いと考えられる。また、累損▲167億円が残っており、資本金等の出資額を喰いこんでいる。

現預金 119	借入金 237
営業未収金 148	営業未払金 320
有形固定資産 439	前受金 196
前払金 416	整備引当金 217
他の資産 188	他の負債 68
	資本金等 439
	累損 ▲167

（資産合計1,309億円）

②キャッシュフロー計算書；

営業キャッシュフローで得た資金を利息支払いと借入金返済に充てている形になっている。

固定資産（航空機材）取得には、少なくとも2017年は殆どまわしていない。

このことから、新規機材はリース調達によるものと考えられる所以である。

		億円
期首Cash		105
営業c/f	税前利益	51
	償却費	30
	その他	-1
投資c/f	固定取得等	-6
財務c/f	借入金返済	-55
	支払利息等	-10
為替変化 (年度計)		-6
		2
期末Cash		108

以上